

マタイの福音書 第5章 45節b

「天の父は、悪い人にも良い人にも太陽を上らせ、正しい人にも正しくない人にも雨を降らせてくださるからです。」

良い人にはあらゆる良いことが伴うよう望むのが自然な感情です。良いことに一生懸命に励んだのだから報われて当然の思いがあります。仮に失敗が重なっても良い人の失敗は大目に見るし、むしろ同情心がわきます。しかし、悪い人は別です。どうせ悪いことを仕出かした結果の失敗だから当然の報いと見ます。なんの同情心もありません。それどころか、いい気味とさえ感じ冷ややかな目で見ます。

正しい人と正しくない人への対応も良い人と悪い人への姿勢と大差はないはずです。正しい人、良い人は好意的に見られ、正しくない人、悪い人は批判的に見られます。社会一般には当たり前のことです。

しかし、太陽と雨はどのような人に対しても分け隔てなく注がれています。良い人、悪い人、正しい人、正しくない人、どのような人であっても天の父の愛に生きる日が来るようにとの祈りのしるしの太陽、雨でしょうか。ひとりでも多くの人が、太陽を浴び、雨に濡れ、人を分け隔てずに目を注がれる天の父に気付き、御前に帰り、堅く結ばれる日がくることを願う忍耐の祈りでしょうか。

2022年5月7日